

## かほく市小中学校の全ての家庭で

# 「コミュニケーション・ウィーク(家庭で読書)」に取り組みましょう!

かほく市PTA連合会会長 金岩 良美

〃 家庭教育委員長 西田 幸代



平素よりかほく市PTA連合会の活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。これまで市内の小中学校では、温かな家庭をつくるために、様々な活動に取り組んできました。特に「コミュニケーション・ウィーク」については、「毎年テーマを持ち、お子さんとじっくり会話をする」という趣旨のもと、市内全体で一斉に共通実践してきました。

昨年度は、夏休みに「学校での出来事、友達のこと等」、冬休みに「コロナ禍の生活に関すること」について取り組みました。興味・関心のあることや将来の夢・職業、今後の生活等について、親子でじっくり話し合う

良い機会となりました。

そこで、今年度は、家庭で読書を楽しむ「家読(うちどく)」について取り組みたいと思います。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。おうちの方と一緒に読書することは、子どもたちの気持ちを安定させ、前向きな姿勢の原動力になるとも言われています。今回の「コミュニケーション・ウィーク」をきっかけとして、親も子と一緒に読書に親しみ、家族の絆が深まれば嬉しく思います。ご多用のことと存じますが、保護者の皆様方には、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

### 期間

10月22日(金)～11月9日(火) [2021「読書週間」に合わせて実施]

※ この期間の間に、1日でもよいので取り組んでください。

### 内容

本を読んで感想を話し合う、読み聞かせをし合う、読書について話し合う、

本を紹介し合う、料理などの本と一緒に読み、実際に作ってみる等について

※ テレビやゲームを消して、じっくりと親子の会話をしましょう。

### 【お願い】

今後の取組の参考とするために、アンケートにご協力をお願いします。

右記のQRコードから回答をしてください。また、アドレスから検索しても回答できます。携帯等で回答ができない場合は、それぞれのお子さんの学級担任に申し出てください。今回はお子さん一人につき一枚のアンケートとなっております。お手数ですが、よろしく願いいたします。【11月10日(水)まで】

### 「家読(うちどく)」とは

家庭読書の略で、家族みんなで読書をする事で、家庭内のコミュニケーションを深めることを目的とした取り組みです。



### 宇ノ気中学校

<https://forms.gle/LRBhxKqtHLy6HSjQ7>



# うちどく

かほくっ子は  
読書に夢中!

# しょう

—かほく市学校司書連絡協議会—

## 「うちどく(家読)」とは?

「家庭読書」の略で「家族ふれあい読書」を意味します。現在、かほく市の子どもたちは学校での朝読書などを通じて読書にとっても親しんでいます。それをさらに家庭でも実践してみたいかがですか。家族と一緒に読書をするをきっかけに、家庭内のコミュニケーションを深めることを目的とした取り組みです。

## いつ、どのように行えばいいの?

家庭で空いている時間にいつでも行えますし、食後や寝る前、などと時間を決めておく  
と取り組みやすいです。

本も、身近にあるものや好みのものなど、決まりはありません。

(読み物に限らず、絵本や図鑑などでもかまいません)



[例えば・・・]

- ・ 家族で同じ本を読み、感想を話し合う
- ・ 保護者が心に残っている本を紹介し、一緒に読む
- ・ 家の中にオリジナル図書館を作ってみる
- ・ 新聞記事を読んで話し合う
- ・ 交代で読み合いするなど、お互いに読み聞かせをする
- ・ ノーメディアで行い、本を楽しむ
- ・ 折り紙や料理、工作の本などを一緒に読む(後日、実際にやってみるのもいいですね)



石川県では毎月23日を「いしかわ学校読書の日」、かほく市では「市民読書の日」としています。市内の学校でも「読書の日」を設けるなどの取り組みを行っているところが多くあります。その前後の都合のよい日などに行ってみるのはいかがですか?

## 本選びに迷ったら・・・

図書館のHP(ホームページ)などで確認してみましょう。

石川県優良図書一覧

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kodomoseisaku/seisyounenn/yuyrotosyo/yuuryotosyo.html>

うちどく.com

<http://uchidoku.com/htdocs/>

## うちどくの良いところは何ですか？

### 家族で仲良くなれる

- ・共通の話題ができることで、会話が生まれる。
- ・親の想いや願いを伝えられる。
- ・子どもの心が安定し気持ちのゆとりができ、会話ができる。

### 感性が磨かれ、想像力が育つ

- ・心の引き出しが増える。
- ・友だち、他人の気持ちを推し量れるようになる。
- ・1冊の本を読み通すことで、達成感を味わえて我慢強さも生まれる。

### 語彙力や集中力がアップする

- ・ことばの感覚が鋭くなる。
- ・漢字が読めるようになる。
- ・集中力がつく。
- ・耳からの読書(読み聞かせ)で、人の話が聞ける子になる。

### 一生涯の宝となる読書の力が身につく

- ・読書が習慣化する。
- ・一緒に読書する楽しみが増える。
- ・好きな本、良い本を自分で発見できるようになる。
- ・広い視野で物事を捉えられるようになる。

## 実践した感想(かほく市の小学校での取り組みの声)

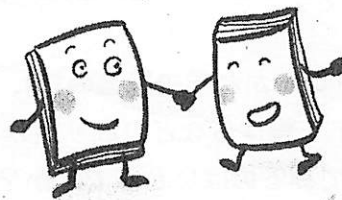
昔読んだ本だったので  
同じ本を借りてきたことが  
うれしかった。(保護者)

おうちの人と感想を  
伝え合って、私もお姉ちゃんも  
おもしろいと思った部分が  
全然違って、聞いてとても  
楽しかったです。(6年)

この本を親子で読んだら未来のことや、  
今の社会について話し合うことができました。  
1人で読むより、親子で読む方が考えを深め合  
うことができるなと思いました。(6年)

「ポポくんのおばけパン」を  
よんで、ぼくは、くりむパンを  
ママにあげたくなりました。  
(1年)

一人で読書したときは  
すきなところを話しても、  
お母さんはわからないけれど、  
おうちの人と読書したら、すきなところ  
を伝え合えるので、毎日読み聞かせ  
してもらいたいです。  
(3年)



今後、うちどくの様子を随時アップしていきます！

かほく市中央図書館HPでご覧ください。

<http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/library/>

